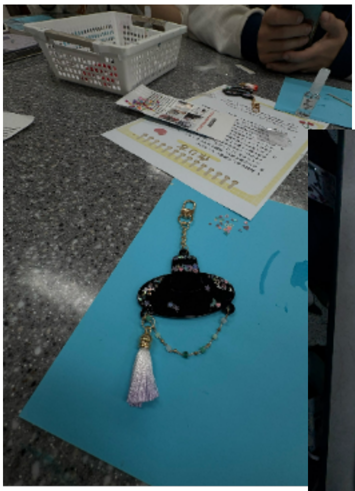
令和7年度水原外国語高校姉妹校交流報告レポート　2025.10.30−11.2@韓国水原市

「コミュニケーションと新しい友達」

学校交流の報告

学校交流では、韓国の生徒と一緒に授業や文化体験をしながら、たくさんの交流ができました。最初は言葉が通じるか不安でしたが、笑顔で話しかけたり、ジェスチャーを使って伝えたりするうちに、少しずつ仲良くなることができました。お互いの国のことを紹介し合う時間では、日本と韓国の似ているところや違いを知ることができ、とても楽しかったです。国が違っても同じように笑い合えたことで、気持ちは言葉だけではなく行動や表情でも伝わるのだと感じました。新しい友達もでき、この交流を通して人とつながる楽しさや、コミュニケーションの大切さを改めて実感しました。



ホームステイの報告

ホームステイでは、韓国の家庭に泊まり、一緒に過ごす中でたくさんのことを学びました。初めは少し緊張していましたが、ホストファミリーが笑顔で迎えてくれて、すぐに安心することができました。食事のときには、手作りの韓国料理を作ってもらい、本場の味を楽しむことができました。キムチやビビンバなど、どれもとてもおいしく、家庭のあたたかさを感じました。言葉がうまく通じないときもありましたが、身ぶりや笑顔で気持ちはしっかり伝わり、たくさん笑い合うことができました。短い時間でしたが、本当の家族のように優しくしてくれて、とても幸せな時間を過ごせました。また韓服を実際に着たり実際の韓国の生活を身をもって体験することができ普段することのない貴重な経験になりました。今回の経験を通して、文化の違いを超えて心でつながることの大切さを感じました。

姉妹校交流を通して学んだこと

姉妹校交流では、韓国の姉妹校の生徒と直接交流する貴重な機会を得ました。交流当日は、両校の生徒が協力してさまざまな活動に参加し、互いの学校生活や文化について理解を深めました。初めは言語の違いによる戸惑いもありましたが、英語やジェスチャーを交えながら積極的にコミュニケーションを取ることで、次第に打ち解けることができました。活動を通して、相手を理解しようとする姿勢が良好な関係づくりにつながることを実感しました。

また、交流を通じて韓国の教育や生活習慣について知ることができ、異文化への理解が一層深まりました。今回の姉妹校交流は、単なる一度きりの体験ではなく、今後も両校の友好関係を発展させていくための大切な第一歩であったと感じます。今後もこの経験を生かし、国際的な視野を広げながら学習や交流に取り組んでいきたいです。